

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月29日

団体名 岡崎「第九」をうたう会

代表者 米津 眞

構成員 10人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

ベートーヴェン交響曲第九番「合唱」の演奏会等を実施し、市民音楽文化の向上に寄与することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
12/21	岡崎市民会館 あおいホール	来場者	来場者 861 名 (招待者含む)	岡崎市と岡崎市教育委員会の後援、岡崎文化協会・愛知室内オーケストラとの共催により、40回目となる第九演奏会を開催。小学生から 88歳までの幅広い年代の市民による合唱を、プロの指揮者・独唱者・愛知室内オーケストラと共に演奏した。音楽コンクール等で優秀な成績を収めた三島小・竜海中をはじめ、市内各校の児童生徒の無料招待を実施し、クラシック音楽の生演奏を体感する機会を提供した。
5/24～12/20	岡崎市民会館 甲山会館 せきれいホール むらさきかん 竜美丘会館	会員・見学者	一般見学者 12 名	128 名の会員が毎週金曜日 19 時～21 時に練習に参加。練習は一般市民の見学を随時受け入れた。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

第九演奏会に向けた練習には岡崎市民を中心に小学生から88歳までの128名が参加。音楽コンクール等で優秀な成績を収めた三島小や竜海中をはじめ市内の小中高校の生徒・児童を招待し、861名の市民の皆様が大合唱(団員124名が出演)やプロの声楽・管弦楽の生演奏を鑑賞する機会を提供した。この演奏会を開催することにより、ベートーヴェンの「第九」という名曲を通じて多くの人々に感動を与え、市民音楽文化の向上に寄与することができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

市民会館でのプロのオーケストラによるクラシック音楽の演奏会自体が非常に少ない中、本格的なクラシックの声楽・管弦楽の生演奏を提供する貴重な場として、岡崎文化協会・愛知室内オーケストラと共に 40 回目の第九演奏会を開催。合唱団には小学生から 88 歳まで 128 名が参加、演奏会には 124 名が出演し、861 名の市民が大合唱やプロの声楽・管弦楽の生演奏を鑑賞した。合唱団は一般市民が自主運営により活動しており、幅広い世代の多くの市民が参加していることから、公益性が高いものと考えます。